

伊東さんの とある1日のスケジュール (日勤)

- 6:00 起床
- 8:00 出社
日勤の始業時間は8:30からだ
が、早めに出勤して日報に
目を通しておく
- 8:45 朝礼&申し送り
介護業務スタート
排泄介助や移乗など
- 11:45 昼食の準備&食事介助
- 13:20 休憩
お昼の休憩は1時間
休憩が終わったら
おやつ介助
- 16:00 申し送り
- 17:30 退社
事務作業が残っていたり、
上司とのミーティングがある
時は、19時くらいまで残業する
こともある
- 18:00 帰宅
子どもたちとあそぶなど、
家族とゆっくり過ごす
- 24:00 就寝

特別養護老人ホーム 和翔苑

墨田区八広6-55-17
TEL 03-3617-1501

平成10年に設立。社会福祉法人八広会が運営する福祉施設。特別養護老人ホームだけでなく、通所介護事業(デイサービス)、短期入所生活支援事業(ショートステイ)、在宅介護支援事業、訪問介護事業(ヘルパーステーション)など、幅広いサービスを提供。地域福祉の向上に取り組んでいる。吾妻西公園の隣という四季の変化を感じられる、自然豊かな環境のなか、アットホームな介護サービスを行っている。

取材しました!



仕事について話す伊東さんのイキイキとした表情から、やりがいのある仕事だと感じました。介護の仕事に対するイメージが変わりました。



和翔苑の3階フロアは、ご利用者様が31名、職員は13名。職員がストレスなく介護に向き合えるよう、一人ひとりの話をしっかり聞き取ることができています。

対応が難しい方ほど、 本音を聞いた時の喜びも大きい

入社3年目から、3階フロアの主任を担当。今は、ご利用者様への介護に加え、他の職員のマネジメントも担当しています。介護に対する思いや考え方は、十人十色ですから、職員の気持ちをひとつにまとめるのは、大変な部分もありますね。

ご利用者様と接する時は、一人ひとりの気持ちにあわせて対応を心がけていますが、これが本当に難しく。例えば、立つことが困難な方は「トイレに行くのはつらいだろう」とおもつにすることがあります。でも、ご本人は苦勞しても、トイレに行きたいと思っていることも、後からご利用者様の本音を知り、落ち込んでしまうこともあります。

その反面、最初は心を閉ざしていた方が本音を言ってくれるようになるのは、この仕事の醍醐味でもあります。ご利用者様のなかには、気難しい方や対応が難しい方もいらっしゃいます。僕はちょっととへんなかもしれないけど、難しい方の心を開くのが好きなんです。ご利用者様の心が読んでいる本や、お部屋を見て、「こんなことに興味があるのかな」「こんな話題なら喜んでくれるかな」と次の手を考えるのが楽しいんです。



ご利用者様のなかには、遠慮からか、なかなか本音を言ってくださらない方もいらっしゃいます。そんな時は、目と目をしっかりとあわせ、表情やしぐさなどから、気持ちを読み取るようにしています。

「伊東のお風呂は気持ちよかった」 その言葉に胸が詰まった

以前、僕が入浴介助をするたびに、厳しいことを言う方がいらつしたんです。いつも「ダメだ」と言われるので、くじけそうになったこともあります。でも、その方が亡くなった後、病院で「伊東に入ってもらったお風呂は気持ちよかった。施設に帰ったら、また伊東にお風呂に入れてもらいたい」とおっしゃっていたと奥様が教えてくださって…。その言葉を聞いた時、うれしさや悲しさで胸がいっぱいになり、思わず泣いてしまいました。この言葉を聞いた時のことは、今でも印象に残っています。

伊東さんのお仕事とは? 介護職

日常生活が困難な高齢者や身体・精神に障害のある人に対して、食事や入浴、排泄などの介助を行う仕事だ。生活面のサポートだけでなく、利用者の心のケアも求められるため、話し相手になったり、レクリエーションなどを行うことも必要だ。また、身体機能を低下させないためにリハビリを行うことも、在宅介護やデイサービス、施設での介護など、活躍の場は多彩。高齢化が進むなか、介護職のニーズは、ますます高まっている。

大好きな祖母の介護が 介護業界に転身するきっかけ

20歳の頃、祖母に介護が必要になったのが、介護に興味を持ったきっかけ。その頃は介護の仕事のことをあまり知らなかったのですが、深く考えず、軽い気持ちで「介護の仕事をしよう」と思ったんです。

22歳で専門学校(夜間部)に入学。昼は仕事、夕方から介護を学び、卒業後は、2年前にオープンしたばかりの特別養護老人ホームに就職しました。

とてもキレイな施設だったのですが、新しい施設のせいも、あまり教育体制やマニュアルが整っていないので、「もっと介護を学びたい」と思い始めたんです。ちょうどその頃、一緒に働いていた看護師さんに言われた「他の施設で経験してみなさい」という言葉に背中を押され、和翔苑に転職しました。

人に感謝され、必要とされる仕事 先入観を捨て、飛び込んで欲しい

介護業界は「給与が低い」「キツイ」というイメージを持っている人が多いと思います。でも、私もまわりの上司も家庭を持ち、家族を養っていますし、経済的な不安を感じることはないと思います。

介護の仕事は、人に感謝される・人に必要とされていることを実感できる、大きな喜びを感じられる仕事です。だから変な先入観を持たず、飛び込んでみて欲しいと思っています。きつとあなとも、人生観が大きく変わりますよ!

人に求められているという実感が 大きなやりがいにつながっている



特別養護老人ホーム和翔苑は、京成電鉄押上線「八広駅」から徒歩6分。緑豊かな、閑静な住宅街のなかにあります。

特別養護老人ホーム 和翔苑
伊東 幸一郎さん(33歳)
千葉県出身。高校卒業後、フットボールオレオレーターとして働く。22歳の時、介護の専門学校に入学。卒業後、地元の特別養護老人ホームに就職し、約2年間勤務。その後、和翔苑に転職。3年前から3階フロア主任になる。